

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 30年 3月 22日 事業所名 川越ゆめの園 保護者等数(児童数) 52 回収数 20 割合 38 %

チェック項目		はい	どちらとも えない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	12	4	・たくさんの方が居るときはスペースが足りない気がします。	・利用人数の多い日などは班に分けて外出を取り入れるなど検討していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	7	0		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	15	0		
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されてか	16	4	0		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	2	0		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	13	5	・障害の重い子達にとってはいろんなタイプの子との交流は難しいのではないかと。	・学生ボランティアの受入れていきます。 ・城西大学付属川越高校の生徒とも引き続き関係を作っていきます。
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか	15	5	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	4	2		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	6	2		
保護者 への 説明等	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	6	1		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか	10	9	1		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	6	1		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	2	0		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	19	1	0		
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	7	12	1		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	15	3		
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	17	3	0	・何かを楽しんでいるのかわかりにくいタイプの子です。	・子ども達に寄り添い楽しみを見つける事が出来る様に支援していきたいと思います。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	17	3	0	・送迎の時間が遅いときがあるとよい。	・面談時に送迎についてのご希望も伺います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 30年 3月 22日

事業所名 川越ゆめの園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・室内だけの活動ではなく外出を多めに取り入れています。	・利用人数の多い日には班に分けて外出を行う等日課を検討致します。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・児童指導員加配加算を取得し配置を多くしております。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか		○		・段差等の軽減に努めてまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか		○		・今後法人HPやお知らせ等で公表予定させて頂きます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者における評価が行える様、検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・毎月事業所内研修を開催しております。 ・積極的に外部研修にも参加しております。	
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・月々配布している行事予定表にて案内しております。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・日課を設定する際に課題を細かく設定し支援致します。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼にてその日の申し送りを行っております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・終礼にて申し送りを議事録に残し行っております。	
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
20	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議がある際は出席しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	㉗	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・現在、医療的ケアが必要な方に関しましては、体制が不十分の為、受け入れを行っておりません。
	㉘	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	・対象学年が中学・高校となっております。	
	㉙	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・今後、移行先の事業所に情報の提供を行って参ります。
	㉚	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・今後、専門機関と連携を行って参ります。
	㉛	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・和太鼓活動にて城西大学付属川越高校の生徒と交流を行っております。	
	㉜	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・今後、積極的な参加を行って参ります。
	㉝	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	㉞	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングについての理解を深め、支援が行える様に致します。
	㉟	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㊱	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㊲	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・1年に2回の家族会を開催予定しております。
	㊳	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㊴	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月広報を発行しお伝えしております。	
	㊵	個人情報に十分注意しているか	○		・鍵付きのキャビネットにて保管しております。	
非常時等の対応	㊶	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㊷	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・行事を行う際に、近隣の住民の方を招待する事が出来る様になってまいります。
	㊸	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・今後、対応マニュアルについて保護者様に配布をさせていただきます。
	㊹	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	・職員に対しての消化訓練や、避難訓練は消防の指導の下行っております。	・利用者様を含めたの非常時の訓練を行って参ります。
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・埼玉県虐待防止研修に参加しております。また、内部の事業所内研修でも取り組んでおります。	
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアルを作成しております。	
	㊼	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
㊽	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットの事例をファイリングいつでも閲覧出来る様になっております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

部署名：川越ゆめの園	
課題及び改善点	改善内容及び工夫
<p>1： 家族間の交流や家族と職員との交流の場や面談等の機会が少ない。</p> <p>2： 他事業所や学校との連携</p>	<p>1：年に2回の家族会開催をすることでご家族様同士の交流や職員との交流の機会を設けていきます。また気になる事があれば、その都度面談等をおこない機会の向上を図ります。</p> <p>2：学校や他事業所を訪問し、利用者の状況や状態・課題を個別支援計画に盛り込んでいきます。</p>